



2008年8月8日から8月24日まで、中国の北京で夏季オリンピックが開催される。東京、ソウルに次ぐアジアでは3番目の開催だ。

チケットの販売も開始されている。気になる値段は開会式が200元～5000元で、日本円に直すと1元を15円として3千円～7万5千円だ。値段は席の位置や予選か決勝か、人気のある競技かなどによって違うが、一番安いチケットで30元(約450円)だ。庶民が買える金額をつけたのだという。



開会式



閉会式



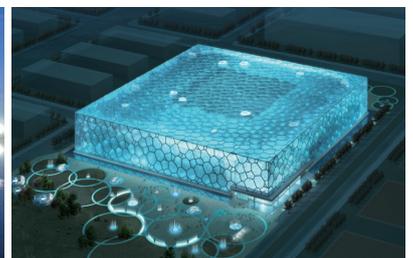
バスケットボール

2008年北京奥运会门票价格确定	
北京奥组委11月29日公布了符合公众收入水平的奥运会门票价格	
其中	单位: 元
奥运会开幕式门票	最低价 200
	最高价 5000
预赛门票	最低价 30
	最高价 300
决赛门票	最低价 60
	最高价 1000
奥运会闭幕式门票	最低价 150
	最高价 3000
部分特殊定价门票 约占售票总量的1.4% (面向青少年)	预赛票价 5
	决赛票价 10
定价等于或低于100元的票数占58%	

メインスタジアムは“鸟巢”niǎocháo(鳥の巣)、水泳会場は“水立方”shuǐlìfāng(水立方)など、そのデザインもネーミングもユニークだ。



鳥の巣



水立方



また開会式の各国選手団が入場する順番だが、先頭のオリンピック発祥の地ギリシャはともかく、これまでは国名のアルファベット順が常識だった。ところが、北京ではなんと国名の筆画順にする。つまり漢字表記された国名の最初の文字の筆画数だ。すると、トップは“几内亚”Jīnèiyà(ギニア)あたりか。“几”は2画だ。

ここらあたりの発想がさすが中華的だ。自分たちの物差しを堂々と主張する。今度日本でやるときは「国名のいろは順」にしよう。

さらに各競技のシンボルアイコンも中華的だ。なんだか、漢字の成り立ちを思わせるではないか。